

令和6年度茨城県教育研修センター第1回外部評価委員会記録

日時	令和6年7月25日（木曜日） 午後1時30分から午後3時まで		
場所	茨城県教育研修センター101研修室		
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【外部評価委員】</p> <p>勝二 博亮 委員 植田 みどり委員 荒瀬 克己 委員（欠席） 沼田 安広 委員 福田 勝之 委員 岡部 佐知子委員 谷津 勉 委員 中村 千秋 委員</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【茨城県教育研修センター】</p> <p>所長 内桶 博仁 次長 小沼 賢次 次長兼教職教育課長 坂上 有紀 企画管理課長 木村 正之 教科教育課長 小出 岳夫 情報教育課長 工藤 博幸 教育相談課長 坂本 要 特別支援教育課長 内田 隆之 企画管理課指導主事 桧山 龍樹 企画管理課指導主事 畠山 崇</p> </td> </tr> </table>	<p>【外部評価委員】</p> <p>勝二 博亮 委員 植田 みどり委員 荒瀬 克己 委員（欠席） 沼田 安広 委員 福田 勝之 委員 岡部 佐知子委員 谷津 勉 委員 中村 千秋 委員</p>	<p>【茨城県教育研修センター】</p> <p>所長 内桶 博仁 次長 小沼 賢次 次長兼教職教育課長 坂上 有紀 企画管理課長 木村 正之 教科教育課長 小出 岳夫 情報教育課長 工藤 博幸 教育相談課長 坂本 要 特別支援教育課長 内田 隆之 企画管理課指導主事 桧山 龍樹 企画管理課指導主事 畠山 崇</p>
<p>【外部評価委員】</p> <p>勝二 博亮 委員 植田 みどり委員 荒瀬 克己 委員（欠席） 沼田 安広 委員 福田 勝之 委員 岡部 佐知子委員 谷津 勉 委員 中村 千秋 委員</p>	<p>【茨城県教育研修センター】</p> <p>所長 内桶 博仁 次長 小沼 賢次 次長兼教職教育課長 坂上 有紀 企画管理課長 木村 正之 教科教育課長 小出 岳夫 情報教育課長 工藤 博幸 教育相談課長 坂本 要 特別支援教育課長 内田 隆之 企画管理課指導主事 桧山 龍樹 企画管理課指導主事 畠山 崇</p>		
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 所長あいさつ 3 委員委嘱 4 出席者紹介 5 委員長・副委員長の選任 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 茨城県教育研修センターの概要（資料1） (2) 報告 <ol style="list-style-type: none"> ア 令和5年度事業実績（資料2） イ 令和5年度年度外部評価委員会の評価結果（資料3） ウ 令和6年度事業計画（資料4） エ 事業評価に関する様式等（資料5） オ 令和6年度第1回外部評価委員会研修講座及び施設参観資料（資料6） カ 広報資料（資料7） (3) その他 7 研修講座及び施設参観 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）第6日A班 (2) ICTを活用した授業づくり研修講座B班 (3) 教育相談（初級）研修講座A班 8 閉会 		

- 1 開会
- 2 所長あいさつ
- 3 委員委嘱
- 4 出席者紹介
外部評価委員会委員及び茨城県教育研修センター事務局職員を紹介した。
- 5 委員長・副委員長の選任
委員長に勝二委員、副委員長に沼田委員を選任した。
- 6 議事
 - (1) 茨城県教育研修センターの概要
 - (2) 報告（事務局から説明、資料に関する質疑も含む）
 - ア 令和5年度事業実績
 - イ 令和5年度年度外部評価委員会の評価結果
 - ウ 令和6年度事業計画
 - エ 事業評価に関する様式等
 - オ 令和6年度第1回外部評価委員会研修講座及び施設参観資料
 - カ 広報資料

事務局から資料1「茨城県教育研修センターの概要」について説明後、次のような質疑応答があった。
(○は委員、●は事務局を表す)

- 施設の概要について、機能していない施設はないか。
- 天体望遠鏡とプラネタリウムについては、設置から30年以上経過し老朽化している。天体望遠鏡は、東日本大震災の被害を受け、また、プラネタリウムについては、使用頻度が低く、相応の費用を要するため改修していない。宿泊棟については、今年度から宿泊研修を再開し、活用している。

事務局から資料2「令和5年度事業実績」について説明後、次のような質疑応答があった。

- Online Ed Caféについて、12月の第31回の再生回数が非常に多いのはなぜか。
- この回は、工藤勇一さん、苫野一徳さん、木村泰子さんのビックネーム3名が参加されたため、県内はもとより全国から注目を浴びて数多く再生されたと考えられる。
- 教師塾修了者の採用試験について、実績はどうか。
- 教師塾修了者の採用試験受験状況等について報告した。
- 研修支援について、実施件数0の分野もあるが、研修テーマの見直しはどのようにしているか。
- 毎年、各担当者が複数年を見越して研修テーマを見直している。
- 長期研修について、6か月が1名であるのはどうしてか。
- 令和5年度は、特別支援学校の1名が6か月研修生であった。学校運営の都合等の事情により、6か月の申し込みが少ないのは残念である。これについては、県教育委員会と連携を図り、長期研修に参加しやすい職場環境をつくるように、対応を進めているところである。
- 指導主事の質的向上について、どのように取り組んでいるか。
- 指導主事の研修については、まず、教育研修センター全体として所員研修を実施している。研修観の転換を図ることが命題である。第1回は、7月1日にNITSから講師を招聘し、いかに受講者が受け身の研修から主体的に学ぶ研修に変えていくかについて研修した。また、公開講座についての情報を共有し、指導主事が積極的に視聴する取り組みも行っている。さらに、各課において、各課長を中心としたOJTを実施しており、研修講座を参観し、指導助言やフィードバックを行い、指導主事の資質能力の向上に努めている。

- 希望研修について、倍率が高い研修講座の追加募集等について検討してほしい。（要望）

事務局から資料3「令和5年度外部評価委員会の評価結果」について説明後、質疑応答はなし。

事務局から資料4「令和6年度事業計画」について説明後、次のような質疑応答があった。

- 講座構築の時期と現場のニーズの集約はどうなっているか。
- 講座構築の時期については、前年度の6月末から7月中旬に担当課で案を構築し、7月末から所内でヒアリングを行う。その前の段階で、本庁各課と連携を図りながら、様々なアンケート結果や調査結果、学校訪問等とおしての現場のニーズの把握、校長会等からのニーズ等、様々な情報を工夫して収集し、講座構築につなげている。
- 今後、8か月ある中で、講座構築の時期やニーズの合致等についての認識はいかがか。
- 8か月間をどうするかについては、7月末のヒアリングは大枠であり、その後の調整・変更は各課で検討を重ね、再度、所内で検討し対応する。
- 最終決定はいつか。
- 各種研修の実施には、予算が必要となる。予算要求が9月から10月頃となるので、9月までに概ねの予算を掲げて要求することになる。その後、研修講座の内容については、予算内での調整は可能である。最終的な研修講座の内容は、1月末から2月に決定する。
- 研修支援を活用して効果的であった。他校への波及など、ハブとしての機能の充実は図られているか。
- ハブとしての機能については、研修支援をとおして現場のニーズ等を把握することができるので、研修講座にそのエッセンスを生かすとともに、メールマガジンや研修資料等によって先生方に広く発信している。

事務局から資料5「事業評価に関する様式等」について説明後、質疑応答はなし。

(3) その他

- ・資料7の広報資料について
- ・事務局から今後のスケジュールについて説明

7 研修講座及び施設参観

- (1) 新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）第6日A班
- (2) ICTを活用した授業づくり研修講座B班
- (3) 教育相談（初級）研修講座A班

参観後に次のような質疑応答があった。

- 研修室の空調について、やはり暑いと感じたが、改善策はないのか。
- コロナ禍の状況で、換気のため外気の取り入れを最大としてきた。5類へ移行されたこともあり、今後、調整する。施設の老朽化も進んでいるが、できることから対応していく。

8 閉会